

# 「小型貝殻ブロックにおけるマナマコの増集」 - 高水温期における夏眠場としての利用についての検証 -

## 研究の目的

マナマコの生息環境には、潮間帯、その下部の生育場、**夏眠場** が必要です！

稚ナマコの着底場として貝殻や、貝殻を使用した構造物に関する知見は多いのですが、人工構造物の **夏眠場** としての利用に関する知見は少ない…。



▲貝藻くん



そ・こ・で

**貝藻くん**のマナマコの **夏眠場** としての効果などを検証してみました！

## 場所・構造物・方法

① 調査した 55 箇所の海域のうち、**31 箇所**でマナマコが確認できました。(2013 ~ 2018 年)

確認箇所数	確認回数	夏眠個体確認回数	小型個体確認回数
31	38	8	14

▲マナマコが確認できた調査の抽出結果



貝藻くんに所狭しと入り込んでいるマナマコ

② **夏眠** 個体数と平均分布密度  
・ 1 基あたり 15 個体確認  
・ 平均分布密度は **0.2 ~ 25.3 個体 / m<sup>2</sup>**  
(既往知見は 0.3 ~ 3.2 個体 / m<sup>2</sup>)

**15 個体確認!**

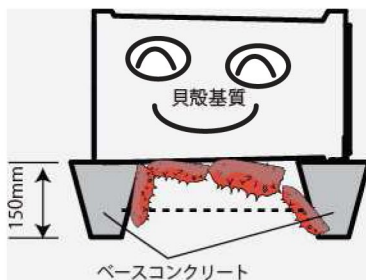


▲熊本県の事例

ウラ返すと…



③ **夏眠** 場所



- ・ ブロック下部と海底との間
- ・ 貝殻基質やベースコンクリートに仰向けに付着

僕らの寝床に最適だね!

## 結論

- ・ **貝藻くん**は、マナマコに適した空間をつくるため、**夏眠場** 造成のツールとして有効である！
- ・ **貝藻くん**は、冬季におけるナマコ漁場としてのポテンシャルを高めるためにも、有効な手段の 1 つである！